

第 67 期

平成 31 年度 事業報告書

平成 31 年 4 月 1 日から
令和 2 年 3 月 31 日まで

福島県郡山市駅前一丁目 8 番 16 号

公益財団法人 湯 浅 報 恩 会

第 67 期（平成 31 年度）事業報告書

1. 事業概況

2019 年 5 月 1 日、時代は平成から令和へと変わった。平成は震災等の天変地異が相次いで発生する時代となったが、令和に入っても、その名にこめられた平穏な世への願いはむなしく、災害が次々と日本列島を襲った。中でも 10 月に本土上陸した台風 19 号では、集中豪雨によって阿武隈川流域の多数の河川が氾濫し、福島県内の死者数は 31 人と過去 50 年間の豪雨災害で最多となった。世界規模でも洪水や大規模な森林火災が発生し、地球温暖化が現実の脅威となって牙を剥いている。

国際情勢では、米中の貿易摩擦、米国とイランの対立、英国の EU 離脱等がテレビや新聞を賑わせたが、2019 年末に中国武漢市で最初の症例が確認された新型コロナウイルス感染症が急速に拡大し、2020 年 3 月 11 日に WHO がパンデミック（世界的大流行）を宣言すると、世界中の関心は一にこの感染症に集中することとなった。パンデミックの中心は中国から欧州に移り、各国で外出・移動禁止、渡航規制、ロックダウン（都市封鎖）、国境封鎖等の措置が取られる中、日本でも 4 月 7 日に緊急事態宣言が発出された。年度が変わった 4 月中旬以降、わが国の新規感染者数は頭打ちとなってきたものの、世界の累計感染者数は 500 万人を超え、国際社会と世界経済を揺さぶり続けている。

医療経営をめぐる情勢では、2019 年 9 月、厚労省は半ば唐突に「診療実績が少ない医療機関」と「(近接する医療機関と) 診療実績が類似している医療機関」として全国 424 の公立・公的病院の実名を公表し、「他の医療機関による代替可能性」、「再編統合の必要性」について検討するよう求めた。地域の医療関係者の協議によって医療資源の再配分を目指すはずの「地域医療構想」に、行政が介入を強めてきたことに重大な関心を払う必要がある。また 10 月には、同月実施された消費税引き上げ（8%→10%）にともなう医療機関の負担増分を補填する目的で初診・再診料、入院基本料等の診療報酬並びに薬価・材料価格が改定され、DPC の点数と係数についても見直しがされた。

以上のような情勢の下、当法人の平成 31 年度の収支損益には一定の改善が見られたが、期末となる 2 月末頃から新型コロナウイルス感染症拡大の影響により外来患者数の減少が始まり、その後、各学会から予定手術の延期勧告、里帰り分娩の自粛要請、健診の延期方針が示されたことなどが入院患者数の減少をもたらし、業績の回復にマイナスに作用した。

2. 部門別事業報告

(1) 法人本部

経済情勢の変化等によって休止となっていた「郡山駅前一丁目第二地区第一種市街地再開発事業」について、2018 年夏に大手住宅デベロッパーからの事業再開提案を受け、新たな補助金制度の活用可能性について行政当局と協議しながら、設計内容の再検討を

行った。結果、さらに調整が必要な部分はあるものの、事業を再開する方向となった。

人事・労務関係では、働き方改革に対応すべく出退勤システムの運用徹底による労働時間管理の充実に努め、有給休暇の年5日取得義務化に合わせ、諸規程の変更を行った。また、人事考課制度について、BSC（バランスド・スコアカード）の4つの視点から部署・チームごとに目標を設定し、目標の達成度を含めた評価を実施するための検討・協議を進め、試行運用に向けた準備を行った。

財務関係では、寿泉堂香久山病院の介護療養病棟→介護医療院の転換工事に係る建設仮勘定・補助金の費用・資産計上処理を行ったほか、台風19号、21号の水害によってユニフォームのリネン業者が被災・事業継続不能となり、多数のユニフォームが棄損したため、ユニフォーム業者を変更し、代替品の補充を行うなど対応した。

また、メイン行他協調融資行からの融資による長期資金を導入し、今後数年間の再調達スキームを構築した。

(2) 寿泉堂総合病院

本年度は、医療環境が厳しくなるなかで地域医療支援病院として急性期病院機能を維持し、「7対1入院基本料」による収益確保と経費節減に努め、院内各部門の総力を挙げて単年度決算の黒字をめざした1年であった。

4月に画像診断医が常勤2名体制となり、これまで外注していた相当数の読影委託料の減額と「画像診断管理加算2」の算定による収益増ができた。また、新天皇即位による5月の大型連休には、救急指定日と重なった2日から4日までを通常診療日として連休にともなう収入減の縮小に努めたが、健康上の理由による5月以降のリウマチ膠原病専門医の休職、退職と形成外科の診療縮小は収入面の大きな誤算となった。

4月から福島医大に「運動器骨代謝学」寄付講座を開設したが、常勤の整形外科医師増には至っておらず、今後に期待している。

【入院患者数】

延べ患者数は85,126人、平均在院日数10.5日と前年度より0.2日短縮（1日平均患者数3人に相当）したなかで前年度より578人・0.9%の減少にとどまった。

【外来患者数】

患者総数は134,414人で一日平均457.2人、前年より0.6%減少したが初診紹介患者総数は7,422人と前年度より110名増加し、紹介率は71.4%と地域医療支援病院の要件60%をクリアできた。

【救急搬送件数】

総数は2,743件と前年度より39件少なかったが、救急入院患者は31名増加した。救急からの入院は新入院患者の17%を占め、救急患者の積極的受入れが定着しつつあると思われるが、救急診療が診療報酬で優遇される次年度以降に真価が問われることになる。

【診療単価】

入院診療単価は全麻手術、分娩、血管内治療件数減少の影響もあり58,483円と前年度比0.46%低下した。外来診療単価は14,967円となり、前年度予算値、実績をそれぞれ

れ 427 円、213 円上回った。高額治療薬の院内処方増加と画像管理加算増によるところが大きいと考えられる。

【医業収支】

以上より、医業収益は前年度より 43 百万円・0.6%減少した一方で、材料費・設備関係費等の医業費用の削減は 48 百万円・0.7%にとどまり、経常外費用を含む一般正味財産は 136 百万円の赤字となった。償却前利益は 240 百万円であり、前年を 67 百万円下回った。

【診療機能の質】

医療安全の確保ならびに感染対策に関する職員研修を実施し、出席率を高める工夫もあって、それぞれ 78.1%、70%の参加率を記録した。前年度末に受審した病院機能評価で唯一 C 評価であった「並列の全身麻酔管理」の難題については、引き続き麻酔科医師の確保に尽力し解決を図っている。

入院診療が事実上不可能となったリウマチ膠原病科、形成外科については非常勤医師による外来診療を継続する予定とした。16 人の職員が各種研修に参加し、輸血管理や人工呼吸器管理、画像診断、脳卒中リハビリ看護、心血管リハビリ等、診療の質を高める専門資格を取得した。

【外来・入退院機能の効率化】

前年 8 月に設置した入退院支援室の運用により、入退院に伴う業務の効率化が図られている。

一方、地域医療連携室を介する他医療機関からの患者受け入れの円滑化、効率的な手術室運用、駐車券節約に直結する診察待ち時間の短縮など解決すべき課題も残っている。

【コスト削減の取り組み】

事務部を中心に経営・システム企画室会議並びに事務科長会議を毎月開催し、収入増加および経費削減対策を経時的に検討し、目標を掲げて年間活動を行った。ジェネリック医薬品使用や診療材料・機器類の見直しを積極的に推進し、前年度比 31 百万円の費用削減を達成できた。職員の採用については適正人員数の確認を行い、過剰な人件費の削減に努めた。

【顧客の視点から】

患者満足度調査では外来 78.8%、入院 88.3%の肯定的評価をいただき、接遇に関する苦情も減少した。以前から要望が多かった駐車料金の無料化を 10 月 1 日から指定駐車場で開始し、ホームページ掲載や登録医等への広報を行った。紹介を含む患者数の増加につながることを期待したい。

本年度も J Café を実施して現場スタッフと経営陣が距離感なく意見交換する場を提供し、課題の抽出と職場環境の改善を図り、離職防止効果なども見られている。

人事労務課にあっては、「働き方改革」に沿って、年休付与日数に関する就業規則・内規の見直しや年休取得 5 日の達成に向けて尽力した。また、医師のタイムカード打刻徹底に向けた活動により、医師の出退勤管理の礎を築くことができた。

(3) 寿泉堂香久山病院

平成 31 年度は、従来の介護療養病棟を新たな介護保険施設である『介護医療院』（51 床）へ転換するとともに、『地域包括ケア病床』（20 床）の導入を実施し、地域における医療・介護ニーズへの対応を充実させた。地域包括ケアシステムを推進していくうえで、病院の方向性を大きく転換させた年度となった。

働き方改革を推進すべく、部署ごとにスタッフが経営陣と対話を行う JK Café を 4 月～5 月にかけて開催。リラックスした雰囲気の中で、栄養管理科による手作りの日替わり特製スイーツを食べながら、職場の問題点や給与・手当から設備に関する事など、日ごろ接する機会の少ない経営陣とオープンな話し合いを行い、多くの環境改善を図ることができた。

6 月には、福島県中地区のリハビリテーションに関係する医療従事者を対象とした当院主催の「第 1 回リハビリテーションフォーラム」を開催した。外部より講師と座長を招き、「急性期重度脳卒中片麻痺患者の歩行再建」について講演を行い、福島県内の病院や介護保険施設から計 151 名の参加があった。講演後には、当院や他院のリハビリテーションの取り組みについて活発な意見交換が行われ、外部との交流を深め、今後の治療に活かすことができた。

10 月より、介護医療院及び地域包括ケア病床の運用を開始。介護医療院は、急性期からの受け皿としての役割を担いつつ、在宅復帰率にカウントできるメリットがあり、地域包括ケア病床は入院期間が 60 日限度ということ以外は、対象患者の医療区分の制限なく受け入れ可能なメリットがある。回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟を有する慢性期病院からの入所など様々なニーズへの対応が求められている中で、介護医療院のほかに回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病床、医療療養病棟、特殊疾患病棟といった複数の機能を併せ持つことにより、医療・福祉のニーズに合った病床を提供可能な体制が構築された。

最近になり、政府・企業等で SDG s（国連で合意された持続可能な開発目標）に取り組む動きが活発になってきている。当院では ISO を取得しており、ISO の環境部分と SDG s に重ね合わせた活動が可能のため、3 月に日本 SDGs 協会に申請を行い事業認定証を取得した。今後様々な公衆衛生活動を通して、持続可能な社会の実現に取り組んでいく。

患者数は、上記した病棟機能の再編も寄与し、入院で患者数、医業収益とも前年度・予算値を上回った。1 日当たり入院患者数は前年比 13.4 名、予算比では 3.6 名の増加となり、収入は大幅に増加した。入院前の患者による施設見学や介護医療院及び地域包括ケア病床などの病院機能が近隣病院に周知されたことが、集患に繋がったと考える。引き続き、病院機能の充実及び医療の質向上に取り組み、患者数の維持を目指したい。

今後も寿泉堂香久山病院の特性を十分に活かし、連携医療機関・福祉施設・介護事業者との情報共有関係を構築し、医療から介護と幅広く患者の受け入れ相談のできる病院として、地域医療・地域福祉に貢献していきたい。

(4) 寿泉堂クリニック

(透析センター)

透析監視装置は、平成 30 年度の更新をもって 49 台すべてを集中管理方式による透析液供給体制へ切り替え完了した。本年度は 4 台を最新の透析装置に更新したことによりオンライン HDF（血液ろ過透析）の実施率が向上し、前年比+15.6%、年度平均 88.9%と上昇した。これにより小分子蛋白質などの除去効率が向上し、より水分バランスの良い透析を提供できた。

また、タクシー会社との契約により通院困難な患者を対象とした無料送迎を開始し、患者サービスの向上を図った。

延べ患者数は 18,615 名と前年度比-997 名・5.1%減少、診療単価は 412 円・1.3%増加することができたが、収入総額は前年度より-22 百万円・3.4%減少の 606 百万円となった。

(健診センター)

今年度は保健衛生活動の推進に向けて特定保健指導を積極的に行い、前年度比 150 名増加の 177 名に実施できた。人間ドック健診者への当日結果説明は 100%実施し、うち保健指導は 12.8%の受診者に行い生活習慣病の予防・改善に取り組んだ。

健診受診者数は 4 月より婦人科医師が常勤となったことにより子宮がん検診をスムーズに受け入れできたことで、公立学校・事業所・郡山市の健診増加にも繋がって前年度比+465 名 2.9%増加した。また 2 年ごとに実施の料金改定と併せて日本人間ドック学会の基準に基づき胃内視鏡検査をオプション扱いとしたことで健診単価が 677 円アップし、収入総額は前年度比+16 百万円 4.9%増加の総額 388 百万円超と過去最高額を達成した。

(クリニック総括)

透析センターは郡山市内の透析ベッド増に伴う患者獲得の激化で苦戦が続いているため、4 月から透析患者の無料送迎（ルート送迎）を開始したことで患者の流出防止を一定程度図ることができ実患者数を-2 名に抑えることができた。クリニック臨床工学技士の支援により、寿泉堂香久山病院透析室の稼働日を月水金のみから火木土も実施できる体制へと充実できたことは入院透析の需要に応えられる大きな成果となった。

寿泉堂クリニック全体の医業収益額は 994 百万円、対前年度比-0.6%・6 百万円の減収となったが、ジェネリック医薬品への切り替えや透析装置オーバーホール等の費用削減に努めた結果、医業費用額が対前年度比-18 百万円減額できたことから、減価償却前利益は 302 百万円と前年度比+3.5%・約 12 百万円の増益となり、対医業収益利益率は 30.4%を達成することができた。

(5) いずみ訪問看護ステーション

昨年度に引き続き、中重度の療養者と終末期ケアに重点を置き、利用者の意思の尊重と療養環境づくりに取り組んだ。医師や多職種との連携や ACP（アドバンス・ケアプランニング）は効率的には進まないが、大切な家族との限られた時間の中で起こる、微細

な喜びや出来事を実際に共有しながら展開する在宅看護は、スタッフのやりがいとなり、個人評価にも反映している。

今期の年間総訪問件数は 3,829 件で、前年度比－58 件、内訳は介護保険訪問看護件数が 2,859 件で前年度比－120 件、医療保険訪問看護件数が 970 件で前年度比 62 件増加した。

看護体制強化加算（介護保険）は 12 か月間算定することができたが、内訳は看護体制強化加算Ⅰ（600 点）3 か月間、同加算Ⅱ（300 点）9 か月間。Ⅰの維持期間が短期であったことから、実績合計は前年度比マイナスの結果となった。本年度前半は再入院が続いたため、ターミナル療養費（医療保険）及びターミナル加算（介護保険）が伸び悩む結果となった。

看取りに関する内訳は、死亡件数 13 件（癌 4 件、非癌 9 件）、内訳は在宅看取り 8 件、病院看取り 5 件であった。在宅看取り件数は前年同数で年間死亡件数の 6 割を占め、主治医は往診医が 100%であった。また、事前に看取り指針や看取りケア方針等の説明、契約（同意書作成）を行った利用者は、一時入院や入所することがなかったため、「ほとんど在宅、時々入院」のスタイルが少し変化したように感じた。

訪問看護は在宅での経験や知識の他、利用者を取り巻く地域の環境も大きく影響するため、訪問看護師は個々の工夫等、高い感受性や能力が求められる。研修については目標に合わせ、院内（月一回以上）、院外（総数 30 回）の研修会に出席し目標を達成できた。特に訪問看護経験 3 年未満者は福島県訪問看護連絡協議会主催の実務研修に参加し、在宅における基本看護技術を学ぶことができた。また、身近な問題や課題が早期に解決できるよう、計画的に育成面談を行ないながら支援することを心掛けている。

本年度、厚生労働省主催の在宅医療関連講師人材養成事業（訪問看護分野）に推薦を頂いたことは大変貴重な経験であった。地域における訪問看護事業の現状と、今後の課題が明らかになり、この経験から地域づくりの役割として、「看取り（ターミナル）ケアについての同意書」を作成した。「人生の最終段階における医療の意思決定プロセスに関するガイドライン」に則り、市内の訪問看護ステーションでも活用されるようになった。地域の訪問看護の質の向上と看護の平均化には今後も継続的な支援が必要であり、計画的に取り組んでいきたい。地域の方々に信頼される、質の高い訪問看護ステーションであり続けられるよう、次年度も引き続き研鑽して行きたい。

(6) 寿泉堂香久山居宅介護支援事業所

特定事業所としての責任と期待に応えられるよう、法令順守と適正管理に努め、質の評価と特定事業所集中減算に注意しながら減算回避を行うことができた。

ケアプラン作成件数は 1,516 件で、昨年度と比べて 146 件減少した。職員が 6 月に 1 名、9 月に 1 名の計 2 名退職したことが要因と考えている。前任ケアマネージャーからの引き継ぎが落ち着いた以降は新規ケース受け入れも積極的に行い、1 月頃からは受け持ち人数も増加傾向となってきた。

介護度別では要介護 1 が一番多く、全体の 36%、要介護 2 は 29%、要介護 3 は 18%、

要介護 4 は 13%、要介護 5 は 4% だった。介護度が高くなるにつれて、人的・物的・経済的環境等が整わないと在宅で介護を続けることが難しくなるため、病院・施設入所などによりケースが終了となることも多かった。

認定調査については 63 件で、前年度比 51 件減少した。介護認定の有効期間が 3 年であり、今年はその隙間の年であったことが影響したものと考えられる。

実習の受け入れについては、ポラリス保健看護学院 3 年次(計 6 名)の受け入れと福島県看護協会からの訪問看護人材育成研修を 1 名受け入れた。介護支援専門員実務研修受け入れについては、台風 19 号の影響で試験日程が遅れたことにより、実習日程が次年度に持ち越しとなった。

連携については退院調整ルールの稼働により、病院担当者との情報伝達がより細かく行われるようになった。また担当看護師やリハビリスタッフなどからも情報が得やすくなり、よりスムーズに退院に向けての目標設定や退院後の生活支援を行うことができた。

平成 30 年度から他法人の居宅介護支援事業所との合同事例検討会を行うことが義務化され、今年度は太田総合病院指定居宅介護支援事業所と合同で事例検討会を行ない、お互いに事例の振り返りや情報の共有などを行うことができた。その他にも居宅協 7 ブロック研修、主任ケアマネージャーの合同研修でも事例検討を行っており、第三者からの質問や助言をもらうことで新しい視点で振り返ることもできた。

地域ケア会議は台風 19 号の影響で今年度は開催がなかった。また、自立支援型地域ケア会議に関しては令和 2 年 2 月に当事業所が事例提供予定となっていたが、同じく台風 19 号の影響で延期となった。

今年度は災害に対する臨時対応が多く、その都度郡山市介護保険課へ確認しながらの対応ではあったが、被災中の利用者等への支援を行うことができた。本人、家族はまだ不安を抱えながらの生活であり、長期にわたり寄り添ったケアを継続していきたい。

次年度も各機関と連携を図りながら対応していきたい。

(7) 郡山南部地域包括支援センター

担当地区の高齢者数は平成 31 年 1 月 1 日現在で 6,166 人、高齢化率は 24.9% であった。前年度比で高齢者数は 60 人増加、高齢化率は 0.3% 増加した。

相談件数は 9,642 件で、相談内容は介護保険や医療保険に関することが全体の 68% を占め、その両方に共通しているのが認知症に関することであった。認知機能低下からさまざまな問題が生じ、医療機関や認知症初期集中支援チーム等との連携が必要となるケースが多かった。介護保険等の代行申請は年間 275 件実施し、介護保険申請やサービス導入まで時間を要するケースや、生活困窮状態や障害を抱えている利用者及び家族などは、関係機関との連携が必要となり支援が長期化した。

要支援者・事業対象者のケアプラン作成件数は 2,698 件で、前年度比 75 件減少した。ケアプランは、平成 29 年度がピークで平成 30、31 年度は減少した。介護保険制度だけに頼らず、地域の通いの場やボランティアなど社会資源の活用を促し、地域の高齢者に介護予防教室を通し、自ら介護予防に取組めるよう促した。要介護認定になり終了する

ケースも多く、居宅介護支援事業所や各施設への引継ぎ、連携、後方支援を行った。

高齢者実態把握事業の「おたっしや長寿アンケート（旧基本チェックリスト）」未回収者の安否確認は 399 件で、民生委員等の協力もあり 100%の安否確認ができた。

今年度も地域包括ケアシステムの深化、推進を目指し行政や医療、介護、福祉、地域関係機関との連携を図り、障害福祉分野との連携や認知症施策の推進、地域活動に力を注いだ。

介護予防教室は年 11 回実施し、延べ 588 名の参加があった。内容は運動器機能向上や認知症予防などの介護予防全般、防災や身元確認 QR コード活用事業の普及啓発など地域からの要望に合わせて実施した。

地域ケア会議は圏域会議を 1 回、個別会議を 9 回、自立支援型 1 回を実施した。

圏域会議では平成 30 年度に実施した「認知症高齢者 SOS 見守りネットワーク『認知症高齢者声かけ訓練』」について、実施後に見えてきた課題についての話し合い、「郡山市認知症高齢者身元確認 QR コード事業」の普及・啓発に力を注いだ。

個別会議では困難事例や複数の課題を抱えている事例などのケース検討を行い、行政を含め各専門職での課題解決に取組み、介護支援専門員への支援を行った。介護支援専門員の力量を高めるためエリア内にある介護支援専門員の交流、勉強会を企画し今年度は 1 回のみで開催だったが次年度以降は定期的開催する予定である。

生活支援体制整備事業として支部社協単位で第 2 層協議体を設置する取り組みをしており、生活支援コーディネーターと協働を継続している。久留米支部、名倉支部で協議体が立ち上がり活動の後方支援をしている。菜根支部や三中支部では設置に向けた地区説明会を行い、地域包括ケアについて説明した。

地域包括支援センター協議会の部会・委員会活動や研修会等にも積極的に参加し、情報共有や自己研鑽に取り組んだ。今後も高齢者や介護支援専門員の相談窓口としての機能を発揮し、地域包括ケアの一端を担っていきたい。

3. 収 支 報 告

上に述べた各部門の事業経過により、法人全体の平成 31 年度医業収益総額は 10,237 百万円となり、前年度に対して 120 百万円・1.2%増加した。一方、これに対する医業費用総額は 10,228 百万円で、前年比-39 百万円・0.4%の減少となった。

部門別事業報告に記載したとおり、寿泉堂総合病院では、医師の長期休暇や退職の影響により医業収益が予算及び前年実績に届かず、前年度比-43 百万円となった。寿泉堂香久山病院は、介護医療院も含めた入院患者数が予算及び前年実績を大きく上回ったことから、医業収益は前年度比 173 百万円の増収となり最終損益も大きく改善し、法人全体の収支均衡回復に大きく寄与した。寿泉堂クリニックにおいても、透析患者の減少にともなう減収幅は小さくなかったが、健診受診者数が増加したことにより、総医業収益は微減に抑えられ、費用の圧縮によって前年度比で増益とすることができた。

今期は法人全体で赤字から脱却することを最重点課題に掲げ、各部門で年度当初より

増収及び費用削減対策に意欲的に取り組んできたが、期首には予想できなかった事態がいくつか発生した中、予算値には届かなかったものの、法人全体で前年度比1億円超の増収を実現した。医業費用については、10月に実施された消費税増税によって費用負担が増加したが、材料費、委託費、設備関係費等の費用削減に取り組んだ結果、前年度比-39百万円となった。

以上の結果、本年度の医業活動による当期経常増減額（経常損益）は34百万円、これに経常外増減額を合算した当期一般正味財産増減額（最終損益）は15百万円の、いずれも黒字となった。一般正味財産増減額はわずかな黒字であるが、これを前年度の-149百万円と比較すると164百万円の大幅な改善となっており、3期ぶりで黒字化を果たしたことを次年度へと繋げていくことが望まれる。

4. 役員会報告

本年度の理事会・評議員会等の開催状況は、次の通りである。

(1) 理事会

① 定時

開催日 令和1年6月11日

議決事項

- ・ 第1号議案 平成30年度事業報告・決算報告について
- ・ 第2号議案 会計監査人の報酬について
- ・ 第3号議案 理事の任期満了に伴う理事候補者の選任について
- ・ 第4号議案 定時評議員会の招集について

報告事項

- ・ 関連施設の現況報告について

② 臨時（みなし決議）

みなし開催日 令和1年6月26日

みなし議決事項

- ・ 代表理事（理事長）選定について
- ・ 業務執行理事（副理事長）選定について
- ・ 業務執行理事（専務理事）選定について
- ・ 参与選定について

③ 臨時（みなし決議）

みなし開催日 令和1年11月18日

みなし議決事項

- ・ 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程変更について

④ 臨時（みなし決議）

みなし開催日 令和2年1月30日

みなし議決事項

- ・ 寿泉堂総合病院北側道路部分の土地の取得について

⑤ 定 時（みなし決議）

みなし開催日 令和2年3月30日

議決事項

- ・ 第1号議案 令和2年度事業計画・収支予算案について
- ・ 第2号議案 令和2年度借入限度額設定について
- ・ 第3号議案 令和2年度事業計画書等の福島県への提出について

報告事項

- ・ 平成31年度決算見通しについて
- ・ 郡山駅前1丁目第2地区市街地再開発事業の状況報告について

(2) 評 議 員 会

① 定 時

開催日 令和1年6月26日

議決事項

- ・ 第1号議案 平成30年度事業報告・決算報告について
監査報告について
- ・ 第2号議案 理事の任期満了退任に伴う理事の選任について

報告事項

- ・ 関連施設の現況報告について

② 臨 時（みなし決議）

みなし開催日 令和1年11月18日

みなし議決事項

- ・ 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程変更について

(3) 業 務 監 査 ・ 会 計 監 査 に 関 す る 会 議

① 平成30年度第66期会計監査人監査報告

開催日 令和1年6月5日

内容 決算報告書に関する監査結果報告

② 平成30年度第66期監事監査

開催日 令和1年6月5日

内容 業務監査及び会計監査

③ 監査法人と理事者等とのディスカッション

開催日 令和1年9月24日

内容 監査法人の監査計画についての説明

④ 監事による業務監査

開催日 令和1年10月3日

内容 財団運営会議への出席

⑤ 監査法人と理事者等とのディスカッション

開催日 令和2年3月23日

内容 監査法人の決算に向けての検討事項の把握

(4) その他

常勤理事による財団運営会議を毎月第1週に開催した。

5. 診療報告

(1) 平成31年度の患者数等は、次の通りである。

(患者数)

	寿泉堂総合病院		寿泉堂香久山病院		寿泉堂クリニック		合計	
	名	前年比	名	前年比	名	前年比	名	前年比
外来患者総数	134,414	97.1%	11,477	96.5%	18,904	95.1%	164,795	96.7%
一日平均	457.2	96.6%	39.0	96.1%	60.3	94.5%	556.5	96.4%
新患者数	14,563	98.5%	448	140.9%	255	113.3%	15,266	99.6%
入院患者総数	85,126	100.2%	70,306	97.2%			155,432	98.8%
一日平均	232.6	100.0%	192.1	96.9%			424.7	98.6%
新入院患者数	7,393	101.9%	554	120.2%			7,947	103.0%
退院患者数	7,397	101.9%	544	117.2%			7,941	102.8%
病床数	305	100.0%	※ 199	79.6%			504	90.8%

※寿泉堂香久山病院...令和1年10月1日 介護医療院開設に伴い病床数変更(250床→199床)

(寿泉堂香久山病院介護医療院) 令和1年10月1日開設

	平成31年度	前年比
入所者総数	7,134名	—
一日平均	39.0名	—
新入所者数	25名	—
退所者数	16名	—
療養床数	51床	—

(救急患者数及び救急車による受入件数)

寿泉堂総合病院

	平成31年度	平成30年度	増減	前年比
入院	1,570名	1,587名	△17名	98.9%
外来	5,904名	6,624名	△720名	89.1%
救急車搬送件数	2,743件	2,782件	△39件	98.6%

(人間ドック及び各種健診受診者数)

寿泉堂クリニック

健診内容	平成31年度	平成30年度	前年比
日本病院会指定による二日人間ドック	64名	72名	88.9%
日本病院会指定による一日人間ドック	3,581名	3,606名	99.3%
全国健康保険協会による生活習慣病予防健診	3,300名	3,072名	107.4%
一般事業所健診	7,283名	7,138名	102.0%

郡山市住民健診	2,102名	1,901名	110.6%
個人健診	278名	352名	79.0%
計	16,608名	17,168名	96.7%

特定保健指導	177名	27名	655.6%
保健栄養指導	455名	543名	83.8%

(いずみ訪問看護ステーション)

	平成 31 年度	平成 30 年度	前年比
利用者延人数	638名	670名	95.2%
訪問延件数	3,829回	3,880回	98.7%
新規利用者数	28名	38名	73.7%

(寿泉堂香久山居宅介護支援事業所)

	平成 31 年度	平成 30 年度	前年比
ケアプラン作成件数	1,516件	1,662件	91.2%
認定調査件数	63件	114件	55.3%

(郡山南部指定介護予防支援事業所)

	平成 31 年度	平成 30 年度	前年比
介護予防プラン作成件数	2,698件	2,773件	97.3%

(2) 本年度導入した主な医療機器及びその他の機器は、次の通りである。

(法人事務局)

人事給与システムサーバ

(寿泉堂総合病院)

ホルミウムレーザー装置

超音波画像診断装置 5 台

耳鼻咽喉ビデオスコープ

全自動尿分析装置

採血業務システムリンクスサーバ

超音波診断ファントム

電動ベッド 15 台

サイボウズサーバ

眼底三次元画像解析装置

人工呼吸器

屈折検査・眼圧測定装置

個人用透析装置

耳鼻科用診療椅子

医用テレメータ

診療情報管理システム

監視カメラレコーダー 2 台

(寿泉堂香久山病院)

超音波画像診断装置

ハイローストレッチャー 3 台

介護医療院対応電子カルテシステム

超低床ベッド 3 台

(寿泉堂クリニック)

透析用監視装置 4 台

透析用チェア 6 台

遠赤外線治療器

医事会計システム用クライアント 4 台

(寿泉堂香久山居宅介護支援事業所)

訪問用軽自動車

6. 公益事業報告

(1) 救急医療活動

- ① 救急医療に対し、郡山地区救急病院協議会、郡山地区第二次病院協議会の運営に協力した。
- ② 救急告示病院として、全日救急患者受け入れに対応した。さらに、郡山地区第二次病院群輪番制により毎週木曜日・金曜日と第2日曜日・第4日曜日を担当し、積極的に地域医療に協力した。担当日における時間外の取扱患者数は、次の通りである。

	平成31年度	平成30年度	増減	前年比
入院（担当日）	1,085名	1,115名	△30名	97.3%
入院（年度内総人数）	1,570名	1,587名	△17名	98.9%
外来（担当日）	5,412名	5,965名	△553名	90.7%
外来（年度内総人数）	5,904名	6,624名	△720名	89.1%
救急車搬送件数（担当日）	1,521件	1,620件	△99件	93.9%
救急車搬送件数（年度内総件数）	2,743件	2,782件	△39件	98.6%

- ③ 郡山市休日・夜間急病センターの二次病院として、毎週木曜日・金曜日と第2日曜日・第4日曜日を担当し、病床の確保等を通じ全面的に協力した。

(2) 育英事業

平成31年度の奨学生は、次の通りである。

福島県立医科大学看護学部	1名
東北福祉大学健康科学部保健看護学科	1名
東京家政大学健康科学部看護学科	1名
国際医療福祉大学保健医療学部看護学科	1名
スズキ病院附属助産学校	1名
福島県立総合衛生学院助産学科	1名
太田看護専門学校	6名
松村看護専門学校	1名
白河厚生総合病院附属高等看護学院	1名
国立病院機構福島附属看護学校	1名
福島看護専門学校	3名

(3) 公衆衛生協力事業等

- ① 開放型病院として、38床の開放型病床を地域の登録医に開放した。

(利用率 43.3%)

- ② 所得に左右されることなく医療を提供するため、生活困窮者等を対象とした医療費減免を実施した。(実施件数 57 件)
- ③ 郡山市内小中学校 6 校の健康診断、妊婦健診、乳幼児並びに 3 才児健診を実施した。
- ④ 産業医として市内各事業所の産業安全衛生活動を実施した。
- ・健康診断実施結果による有所見者への保健指導を実施
(6 事業所 従業員総数 1,598 名)
 - ・健康相談・健康セミナーを事業所にて開催 (4 事業所 年間 52 回)
 - ・保健師による健康相談・保健指導を事業所にて開催
(1 事業所 年間 12 回)
- ⑤ 厚生労働省からの要請による院内感染対策サーベイランス事業に協力した。
- ⑥ エイズ治療拠点病院として、サーベイランス調査、HIV 感染患者の診療に協力した。
- ⑦ 周産期医療協力病院として、福島県周産期医療システムに協力した。
- ⑧ 出産を控えた患者と家族を対象として、毎週土曜日に「パパママクラス」を開催した。
- ⑨ 献血事業協力のため、福島県赤十字血液センターでの採血協力のほか採血バスへの医師派遣を毎月 1 回ないし 2 回実施した。
- ⑩ 社会福祉法人いずみ福祉会への診療協力を実施した。
- ⑪ 郡山市の委託により地域包括支援センターを運営した。

(郡山南部地域包括支援センター運営実績)

	平成 31 年度	平成 30 年度	前年比
相談業務	*9,642 件	5,158 名	—
おたっしや長寿アンケート未回収者の実態把握	399 件	365 件	109.3%
介護予防教室	11 回	9 回	122.2%
認知症サポーター養成講座	3 回	— 回	—
認知症施策関連事業	1 回	3 回	33.3%
生活支援体制整備関連事業	7 回	11 回	63.6%
地域ケア会議	11 回	10 回	110.0%
ケアマネ交流会	1 回	— 回	—

※相談業務については、本年度より集計方法変更のため、前年度との比較は行わず。

- ⑫ 地域住民を対象とする健康教室等を開催した。

(寿泉堂総合病院)

令和 1 年 5 月 10 日	「看護の日」イベント 骨密度測定等各種測定及び看護、その他各種相談	155 名参加
8 月 20 日	寿泉堂健康教室 「ストレスとの上手なつきあい方」	30 名参加
9 月 9 日	救急の日イベント AED 講習会、救急蘇生・応急手当 (成人及び小児)	15 名参加

(寿泉堂香久山病院)

令和1年 6月 1日	昭和町集会所にて「いきいきサロン」 認知症について	認知症看護認定看護師
6月 8日	小原田公民館にて「いきいきサロン」 手指衛生について	感染管理認定看護師
6月 15日	山崎集会所にて「いきいきサロン」 認知症について	認知症看護認定看護師
7月 13日	七ッ池集会所にて「いきいきサロン」 手指衛生について	感染管理認定看護師
8月 22日	家庭医学講座 (認知症サポーター養成講座) 認知症について	認知症看護認定看護師
10月 5日	小原田公民館にて「いきいきサロン」 手指衛生について	感染管理認定看護師
10月 19日	山崎集会所にて「いきいきサロン」 手指衛生について	感染管理認定看護師
令和2年 2月 20日	家庭医学講座 感染対策「ノロウイルスについて」	感染管理認定看護師

(寿泉堂クリニック)

令和1年 11月 26日	透析患者勉強会 「災害発生時の透析治療について、緊急伝言ダイヤルの活用」 44名参加
--------------	--

- ⑬ 地域医療支援病院として、地域の医師、医療機関を対象とする医学講座並びに症例懇話会を開催した。

(医学講座)

令和1年 6月 20日	寿泉堂香久山病院リハビリテーションフォーラム 演題「急性期重度脳卒中片麻痺者の歩行再建」 講師 仙台市広南病院リハビリテーション科 統括主任 阿部浩明先生
令和1年 6月 24日	第45回寿泉堂病院公開医学講座 演題「骨軟部の腫瘍と骨粗鬆症の治療をわかりやすく」 講師 福島県立医科大学医学部運動器骨代謝学講座 教授 山田 仁先生
10月 28日	第45回寿泉堂病院公開医学講座 演題「症状から診断へのアプローチ～総合診療の視点から～」 講師 国際医療福祉大学医学部総合診療医学 主任教授 大平善之先生

(症例懇話会)

令和1年 6月 19日	外科 消化器内科	・後腹膜穿孔と出血性ショックを呈した十二指腸潰瘍の1例 ・当院における胃・大腸のESD症例の検討 参加人数 26名
10月 16日	歯科口腔外科	・下顎に生じた脂肪腫の1例 ・慢性歯性感染症との関連が疑われたびまん性大細胞型B細胞リンパ腫3例 参加人数 45名

11月21日	産婦人科	・当院における癒着防止材の選択 ・骨盤臓器脱治療の手術選択　－最近の動向－ 参加人数 29名
12月3日	寿泉堂忘年懇話会 「がんのあれこれ」	参加人数 208名

⑭ 地域医療支援病院として、地域医療従事者に向けた研修会を開催した。

(寿泉堂総合病院)

令和1年 5月 15日	放射線科研修会 「当院のCT検査の紹介について」 「DWIBSっていいね！(MRIによる癌の全身検索)～検査方法と画質改善の工夫～」	19名参加
6月 12日	認定看護師による研修会(出前講座) 「高齢者のエンド・オブ・ライフにおける症状緩和」 「予防的スキンケア～高齢者の皮膚の特徴を知る」 「地域医療支援病院」それどんな病院？」	165名参加
7月 5日	救急蘇生法講習会 「救急蘇生とAEDの使い方」	11名参加
7月 17日	栄養管理科研修会 「その衛生管理大丈夫ですか？～食中毒から身を守るために～」	22名参加
8月 21日	認定看護師による研修会 「褥瘡～褥瘡の具体的な処置方法」	23名参加
11月 13日	認定看護師による研修会(出前講座) 「感染症とその予防について」 「施設・在宅でのリハビリについて」	121名参加
11月 22日	認定看護師による研修会 「高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケアにおける症状緩和と意思決定支援」	14名参加
11月 25日	感染対策委員会研修会 「耐性菌ってなあに？」&個人防護具着脱・手洗い	12名参加
12月 18日	認定看護師による研修会 「脳卒中発症リスクを知り、あなたが脳卒中を救おう！！」	13名参加

⑮ 地域の健康増進、各種行事等へのスタッフ派遣に協力した。

平成31年 4月 26日	まちの保健室(9月29日、11月26日)	保健師 1名
4月 29日	郡山シティーマラソン 救護班	看護師 2名
令和1年 5月 5日	こどもまつり 救護班	看護師 2名
6月 1日	まちなか子ども夢駅伝 救護班	看護師 2名
6月 26日	看護職の再就業支援研修 講師(11月15日)	看護師 1名

6月19日	福島県介護予防支援従事者研修 講師	主任ケアマネ1名
7月17日	アテントマイスター・プロ養成研修 講師	皮膚排泄ケア認定看護師1名
7月20日	スーパースポーツゼビオ 3×3Game 救護班 (8月4日)	看護師2名
7月23日	郡山市地域包括支援センター初任者研修 講師	主任ケアマネ1名
7月27日	郡山ビール祭り 救護班 (～28日)	看護師2名
8月1日	グループホームすぶりんぐ勉強会 講師 (8月8日、9月30日)	訪問看護師1名
8月2日	郡山うねめ祭り 救護班 (～3日)	看護師2名
8月8日	郡山女子短期大学音楽科生活福祉実習 講師 「終末期医療概論」	緩和ケア認定看護師1名
8月10日	福島県少年野球選手権 救護班 (～12日)	看護師2名
8月24日	令和元年度認定看護管理者教育セカンドレベル統合演習ファシリテーター	看護師1名
9月4日	福島県介護支援専門員専門研修Ⅰ 講師	主任ケアマネ1名
9月5日	福島県民スポーツ大会 救護班	看護師2名
9月14日	第8回足病合併透析患者の為の講習会 講師	看護師1名
9月29日	第13回福島県在宅褥瘡セミナー	皮膚排泄ケア認定看護師1名
10月1日	高齢者施設における感染対策研修会 講師 (4日)	感染管理認定看護師1名
10月3日	福島県介護支援専門員専門研修Ⅱ 講師 (10月28日、29日、12月3日)	主任ケアマネ1名
10月19日	2019年度看護師のための緩和ケア研修会 講師 (～20日)	緩和ケア認定看護師1名
11月3日	日本弁護士連盟全国野球大会 救護班 (～4日)	看護師2名
11月5日	郡山保健所 令和元年度感染対策基礎研修会 講師	感染管理認定看護師1名
11月12日	福島県病院協会 看護補助者研修会 講師	感染管理認定看護師1名
11月17日	第15回福島県糖尿病看護研究会 講師	看護師1名

11月18日	福島県介護支援専門員再研修、更新研修 講師	主任ケアマネ1名
12月7日	福島県看護協会 新人助産師交流会 アドバイザー	助産師1名
12月13日	看護に関する出前講座 講師 郡山ザベリオ学園中学校	看護師1名
12月18日	福島県主任介護支援専門員更新研修 講師	主任ケアマネ1名
令和2年1月9日	あさか包括地区介護支援専門員合同事例検討会 講師	訪問看護師1名
2月1日	第47回日本心血管インターベンション治療学会 東北地方会 講師	看護師2名
2月25日	福島県立総合衛生学院分娩介助学内演習 指導者	助産師1名

(救急蘇生講習会への講師派遣)

令和1年6月3日	郡山市立明健中学校	医師・看護師4名
6月4日	郡山市立郡山第一中学校	看護師2名
6月10日	郡山市立御館中学校	看護師2名
6月26日	郡山市立安積第二中学校	医師・看護師4名
7月8日	郡山市立小原田中学校	看護師1名
7月9日	郡山市立富田中学校 (11日)	看護師3名
9月4日	郡山市立郡山第二中学校	医師・看護師4名
9月18日	郡山市立安積中学校	看護師2名
9月30日	郡山市立郡山第七中学校	看護師1名
11月12日	郡山市立緑ヶ丘中学校	看護師2名
11月20日	郡山市立郡山第六中学校 (21日)	医師・看護師6名

- ⑩ ボランティア育成運営委員会により、ボランティア育成講座及び実習を開催し、
ボランティアの積極的な受け入れを行った。

(ボランティア育成運営委員会)

寿泉堂総合病院 11回

寿泉堂香久山病院 7回

(ボランティア育成講座)

寿泉堂総合病院 令和1年6月13日 1名受講

⑰ 地域のコミュニティスペースとして、寿泉堂総合病院の会議室を開放した。

平成 31 年 4 月 7 日	ふくしま視能訓練士の会 第 1 回役員会 ふくしま視能訓練士の会
令和 1 年 6 月 25 日	足といのちを救う会 第一三共株式会社
7 月 19 日	第 27 回郡山血管造影・IVR 研究会 郡山血管造影・IVR 研究会
8 月 3 日	第 12 回福島県大腸肛門疾患フォーラム 福島県大腸肛門疾患フォーラム
10 月 26 日	ふくしま認定看護管理者ネットワーク交流会 ふくしま認定看護管理者ネットワークの会
11 月 10 日	ふくしまの地域医療を学ぶオートタムセミナー2019 公立大学法人福島県立医科大学地域医療支援センター
11 月 17 日	ふくしま視能訓練士の会 講習会 ふくしま視能訓練士の会
11 月 19 日	足といのちを救う会 第一三共株式会社
12 月 7 日	第 15 回福島県形成外科研究会 科研製薬株式会社
令和 2 年 1 月 18 日	ふくしま認定看護管理者ネットワークの会総会、研修会 ふくしま認定看護管理者ネットワークの会
1 月 25 日	第 2 回福島県臨床検査技師会県南支部微生物研究会 福島県臨床検査技師会県南支部微生物部門

(4) 研究研修事業

臨床研修医、医学実習生及びその他の実習生を受け入れた。また、関連大学に研究費の助成を実施した。

① 研究助成・事業援助の状況

(ア) 関連大学へ研究助成	26 件	69,866,666 円
(イ) 関連各種学会へ事業援助	6 件	1,150,000 円
(ウ) 地域への事業援助	37 件	620,500 円

② 臨床研修医の受入状況

(ア) 基幹型臨床研修病院（寿泉堂総合病院）

マッチングによる 2 年間の研修（医科）	1 年次 6 名	2 年次 6 名
マッチングによる 1 年間の研修（歯科）	1 名	

(イ) 福島県立医科大学附属病院の協力型臨床研修病院（寿泉堂総合病院）

研修医	2 年次 1 名
研修期間	令和 1 年 9 月 9 日～10 月 6 日
研修科目	耳鼻咽喉科
研修医	1 年次 1 名
研修期間	令和 1 年 12 月 2 日～令和 2 年 1 月 5 日
研修科目	眼科

③ 看護学生等の受入状況

	学校名	人数
看護学生	福島県立医科大学看護学部	83名
	福島県立総合衛生学院	19名
	郡山看護専門学校	110名
	医療創生大学看護学部	35名
	ポラリス保健看護学院	8名
	国際医療看護福祉大学校	2名
薬学生	奥羽大学	5名
	東北医科薬科大学	1名
リハビリテーション科学生	国際医療看護福祉大学校	1名
	仙台青葉学院短期大学	1名
	新潟リハビリテーション大学	1名
	東北福祉大学	3名
	東北文化学園大学	1名
臨床工学士学生	国際医療看護福祉大学校	2名
栄養士学生	郡山女子大学	8名
	郡山女子大学短期大学	5名
	城西大学	1名
歯科衛生士学生	福島医療専門学校	43名
視能訓練士学生	新潟医療技術専門学校	1名
	仙台医健・スポーツ&こども専門学校	2名
社会福祉士学生	東北福祉大学	2名
事務関係	国際医療福祉大学	2名
フットケア外来研修	ひろさか内科クリニック	1名
訪問看護人材育成研修	福島県看護協会	1名
在宅医療現場出向ツアー	郡山医師会	3名

④ 看護インターンシップ受入状況

実習内容	人数
国際医療福祉大学	4名
国際医療大学	2名

医療創生大学	4名
新潟医療福祉大学	1名
仙台赤門短期大学	1名
川崎市立看護短期大学	1名
福島総合衛生学院	1名
白河厚生総合病院附属看護学校	2名
太田看護専門学校	4名
公立岩瀬看護専門学校	23名
仁愛福祉専門学校	1名
ポラリス保健看護学院	9名

⑤ 消防署救急医療実習受入状況

実習内容	人数
郡山地方広域消防組合・救急隊員病院研修	8名

⑥ 一般の実習受入状況

実習内容	人数
高校生看護体験	10名
福島県立郡山商業高等学校高齢者とのふれあい体験学習	157名
福島県立郡山商業高等学校 2019 夏ボランティア体験	2名
福島県立清陵情報高等学校ジュニアインターンシップ	3名
福島県立湖南高等学校ジュニアインターンシップ	2名
福島県立田村高等学校ジュニアインターンシップ	1名
郡山市立郡山第四中学校職場訪問	3名
郡山市立郡山第五中学校職場訪問	2名
郡山市立郡山第六中学校職場訪問	4名
郡山市立緑ヶ丘中学校職場訪問	2名
郡山市立小原田中学校職場訪問	2名
郡山市立高瀬中学校職場訪問	2名
郡山市立柴宮小学校総合福祉学習活動	16名

⑦ 研究事業

(ア) 学会発表演題数 (診療部)	34 題
(イ) 剖検数	5 体
(ウ) 治験薬施用承認件数	3 件

⑧ 研修事業

(ア) 研究研修のための学会等への派遣 (延人数)

	本部	寿泉堂	香久山	クリニック	いずみ訪問	居宅介護	地域包括
診療部	—	220 名	13 名	54 名	—	—	—
看護部	—	122 名	73 名	43 名	10 名	—	—
診療支援部	—	74 名	20 名	34 名	—	—	—
事務部	13 名	105 名	14 名	3 名	—	—	—
その他	—	18 名	—	—	—	—	—
合計	13 名	539 名	120 名	134 名	10 名	—	—

(イ) 教育研修等

(法人)

令和 1 年 6 月 15 日	職員接遇研修会	68 名参加
11 月 28 日	新入職員フォローアップ研修会	45 名参加
令和 2 年 1 月 21 日	第 27 回寿泉堂病院学会	104 名参加

(寿泉堂総合病院)

令和 1 年 9 月 2 日	5S 活動推進委員会研修会 「5S 活動やってみませんか？」会	96 名参加
11 月 13 日	平成 31 年度クリニカルパス検討会 「DPC 期間とパスの関係性」	74 名参加
11 月 27 日	「造影剤の副作用」 「MRI 検査時におけるチェック事項」	56 名参加
12 月 11 日	「診療用放射線の安全利用に関する法改正の概要」	72 名参加
12 月 10 日	保険診療に関する研修会 「DPC と看護必要度Ⅱについて」	155 名参加
12 月 23 日	高齢者医療に関する研修会 「高齢者医療について」	86 名参加
2 月 21 日	がんのリハビリテーション研修会	50 名参加
令和 2 年 3 月 23 日	保険診療に関する研修会 (動画配信) 「令和 2 年度診療報酬改定について」	125 名参加

(寿泉堂香久山病院)

令和 1 年 6 月 26 日	介護医療院について	93 名参加
8 月 23 日	栄養アセスメントと栄養管理の重要性	50 名参加

11月 5日	BLS研修会（～15日）	195名参加
令和2年 1月 31日	院内研究発表会	57名参加

（寿泉堂クリニック）

令和1年 5月 21日	透析センター講演会 「P,Ca,水分塩分管理の困難な患者への指導・支援、透析患者の理解と治療的コミュニケーション」	22名参加
8月 29日	接遇研修会（9月10日） 「信頼関係を深めるコミュニケーションのコツ」	68名参加
令和2年 1月 21日	透析センター講演会 「シャント管理について」	28名参加

(ウ) 海外研修

アメリカ合衆国（ホノルル地区）病院視察 令和1年6月2日～6月7日 6日間 派遣人数：4名 添田加寿子、安齊由佳子、遠藤一江、和泉敦子

7. 設備改修工事等報告

平成31年度に実施した主な工事は、次の通りである。

（寿泉堂総合病院）

- ・ガスヒートポンプエアコン室外機修理（1階、6階、7階、8階、9階、10階）
- ・手術室外調機修繕工事
- ・冷温水発生器修繕工事
- ・蒸気発生器本体更新工事
- ・ナースコールサーバ更新工事
- ・Jパーキング高圧ケーブル更新工事

（寿泉堂香久山病院）

- ・石垣設置工事
- ・介護医療院転換工事

（寿泉堂クリニック）

- ・院内WiFi整備工事
- ・受変電設備改修工事

8. 労使関係報告

(1) 平成31年4月26日開催の労使協議会において、平成31年度の給与改定及び以下の項目について妥結した。

昇給率 2.05% 昇給額 3,903円（標準5号の定期昇給）
労働条件

- (2) 平成 31 年 4 月 26 日開催の労使協議会において、平成 31 年度の上期賞与の支給率について妥結した。
 (基本給+調整手当 4,000 円) × (基準賞与 1.5ヶ月+業績賞与 0.9ヶ月)
- (3) 令和 1 年 5 月 1 日から介護福祉士、介護職員の夜勤手当を 1,000 円増額し 6,000 円とした。
- (4) 令和 1 年 11 月 27 日開催の労使協議会において、平成 31 年度下期賞与の支給率について妥結した。
 (基本給+調整手当 4,000 円) × (基準賞与 2.0ヶ月+業績賞与 0.4ヶ月)
- (5) 令和 2 年 4 月 1 日からの休日・時間外労働(36 協定)に関する労使協定を行った。
- (6) 令和 3 年 3 月に労働時間調整の為、0.5 日の半振休を付与する労使協定を行った。
- (7) 労使双方の代表によって構成する「給与委員会」を定例開催した。

9. 庶務事項報告

(1) 令和 2 年 3 月 31 日現在の職員数は次の通りである。 (単位：人)

	医師		看護師・准看護師		医療技術員		事務職員		その他		計	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
本部			1				13	1			14	1
寿泉堂	59	88	235	22	102	1	76	2	45	2	517	115
香久山	6	11	87	3	42	1	18		67	8	220	23
クリニック	5	9	32	2	9	1	13	2	3		62	14
いずみ訪問			5	1							5	1
包括支援			5				1				6	0
居宅介護			2				2		1		5	0
計	70	108	367	28	153	3	123	5	116	10	829	154

※休職者除く

- (2) EY 新日本有限責任監査法人による法定監査を受けた。
- (3) 当法人及び寿泉堂松南病院を退職した元職員による寿泉堂病院 OB 会「寿友会」の運営に協力した。
- (4) 従業員の健康確保、労働環境確立と労働能力の高揚を目的に、衛生委員会（昭和 55 年 1 月制定）を 12 回開催した。
- (5) 医療安全の確保を目的とした医療安全管理委員会、医療安全対策委員会及び職員研修会を次の通り開催した。

(医療安全管理委員会、医療安全対策委員会)

寿泉堂総合病院	24 回
寿泉堂香久山病院	12 回
寿泉堂クリニック	6 回

(医療安全管理研修会)

平成 31 年 4 月 3 日	平成 31 年度新採用者医療安全研修会 (4 日)	59 名参加
令和 1 年 5 月 27 日	新採用者薬剤に関する研修会 「麻薬・向精神薬の取扱について」	24 名参加
5 月 28 日	身体抑制検討研修会	64 名参加
6 月 12 日	新採用者 KYT 研修会	26 名参加
6 月 12 日	人工呼吸器勉強会	33 名参加
6 月 14 日	医療安全研修会 (19 日、28 日) 寿泉堂香久山病院 「クレームの解決とインシデントの共有」	235 名参加
6 月 17 日	医療安全管理研修会 (19 日、26 日、7 月 1 日、4 日、18 日、 19 日、22 日、25 日) 「事例からの振り返り」	543 名参加
10 月 31 日	医薬品安全研修 (寿泉堂香久山病院)	22 名参加
12 月 9 日	医療安全研修会 (11 日、17 日、18 日) 寿泉堂香久山病院 「身体拘束・虐待など不適切な対応を防ぐ」	224 名参加
令和 2 年 1 月 29 日	医療安全管理研修会 (2 月 3 日、12 日、17 日、3 月 11 日、 12 日、16 日、18 日) 「事例からの振り返り」	549 名参加

- (6) 院内感染の予防と拡大防止を目的とした院内感染対策委員会 (平成 4 年 4 月制定) を 12 回開催し、職員研修会を次の通り開催した。

(感染対策研修会)

平成 31 年 4 月 4 日	新採用者感染対策室研修会 (5 日)	59 名参加
令和 1 年 6 月 28 日	感染対策委員会研修会 (7 月 8 日、9 日、8 月 1 日) 「麻しん・風しんについて」	509 名参加
7 月 16 日	感染対策研修会 (24 日、31 日) 寿泉堂香久山病院 「ESBL と感染対策」	250 名参加
8 月 26 日	抗菌薬適正使用に関する研修会 (28 日、30 日、9 月 18 日、 11 月 26 日～28 日) 「肺炎治療の抗菌薬選択について」	310 名参加
10 月 21 日	感染対策研修会 (23 日、25 日、28 日、29 日、31 日、12 月 25 日、26 日、1 月 9 日) 「当院の耐性菌検出状況と手指衛生について」	571 名参加
令和 2 年 1 月 7 日	感染対策研修会 (8 日、14 日、16 日、17 日、22 日、31 日) 寿泉堂香久山病院 「麻疹、風疹 ～基本・動向・対策～」	230 名参加
1 月 20 日	抗菌薬適正使用に関する研修会 (22 日、24 日、31 日、2 月 28 日、3 月 2 日、5 日、6 日) 「抗インフルエンザウイルス薬の適正使用について」	297 名参加

- (7) 医療ガス（診療の用に供する酸素、窒素、各種麻酔ガス等）設備の安全管理を図り患者の安全を確保するため、医療ガス安全委員会及び医療ガス設備取扱講習会を次の通り開催した。

（委員会）

寿泉堂総合病院 令和2年 3月 9日
 寿泉堂香久山病院 令和2年 3月 30日
 寿泉堂クリニック 令和1年 5月 20日

（取扱講習会）

寿泉堂総合病院 平成31年 4月 2日
 寿泉堂香久山病院 令和1年 7月 25日
 寿泉堂クリニック 令和1年 6月 4日
 令和1年12月10日

- (8) 透析機器の安全管理を図り患者の安全を確保するため、透析機器安全委員会を次の通り開催した。

（委員会）

寿泉堂クリニック 平成31年 4月 4日

（医療機器取扱研修会）

寿泉堂クリニック

令和1年 12月 24日	透析患者管理システム ニプロ製品について	13名参加
令和2年 2月 13日	透析患者管理システム 東レ・日機装製品について	20名参加

- (9) 防火避難訓練を次の通り実施した。

寿泉堂総合病院 令和1年 6月 25日（防災訓練）
 10月 29日（総合訓練）
 寿泉堂香久山病院 令和2年 2月 21日（総合訓練）
 3月 31日（総合訓練）
 寿泉堂クリニック 令和1年 6月 20日（総合訓練）
 8月 23日（透析センター 福島県透析連絡会議主催
 災害時情報伝達訓練参加）
 9月 2日（透析センター 福島県透析連絡会議主催
 MCA無線使用災害時情報伝達訓練参加）
 11月 12日（総合訓練）
 令和2年 3月 11日（透析センター 福島県透析連絡会議主催
 災害時情報伝達訓練参加）
 附属さくら保育園 毎月第3木曜日

(10) 平成 31 年度の当法人並びに職員に対する外部団体からの表彰は、次の通りである。

令和 1 年 5 月 11 日	平成 31 年度福島県看護功労者表彰式 優良看護師 松岡明美、鈴木和美、景山ゆり子
6 月 7 日	福島県病院給食研究会連合会 病院給食の向上発展に寄与 調理師 佐藤千栄子、薄井美幸
6 月 26 日	紺綬褒章受章 公益財団法人湯浅報恩会 公益のため長年にわたり福島県立医科大学の学術奨励金を 助成している功績による。

10. 主要記事

平成 31 年	4 月 1 日	新入職員入社式並びに辞令交付式	
	4 月 11 日	ふれあいコンサート開催 (5 月 23 日、6 月 24 日、7 月 25 日 8 月 20 日、10 月 24 日)	(寿泉堂香久山病院)
令和 1 年	5 月 10 日	職員満足度向上を目的とし職場毎に JK Café を開催 (~29 日)	(寿泉堂香久山病院)
	6 月 8 日	令和 2 年 3 月に卒業する看護学生を対象に「病院説明会」開催 (7 月 13 日)	
	7 月 2 日	職員満足度向上を目的とし職場毎に JC Café を開催 (~12 日)	(寿泉堂クリニック)
	7 月 17 日	東北厚生局による適時調査	(寿泉堂香久山病院)
	7 月 26 日	夏祭り開催	(寿泉堂香久山病院)
	8 月 9 日	JHQC 訪問研究会	(寿泉堂総合病院)
	8 月 20 日	平成 31 年度永年勤続者表彰式開催 40 年勤続表彰 4 名 30 年勤続表彰 5 名 20 年勤続表彰 6 名 10 年勤続表彰 23 名	
	9 月 19 日	ISO 統合サーベイランス (~20 日)	(寿泉堂香久山病院)
	9 月 26 日	郡山市による平成 31 年度認可外保育所施設立入調査 (附属さくら保育園)	
	10 月 3 日	第 49 回郡山地区自衛消防操法大会出場	
	10 月 3 日	附属さくら保育園遠足 (福島空港公園)	
	10 月 6 日	第 10 回寿泉堂病院ゴルフ大会開催	(寿泉堂総合病院)
	11 月 9 日	第 7 回寿泉堂病院解剖慰霊祭開催	
	11 月 21 日	郡山市保健所による平成 31 年度病院立入検査 (寿泉堂総合病院)	
	11 月 22 日	郡山市保健所による平成 31 年度病院立入検査 (寿泉堂香久山病院)	
	11 月 26 日	うららかフルーツコンサート開催	(寿泉堂総合病院)
	11 月 26 日	長期透析患者表彰式開催 受賞者 5 名	(寿泉堂クリニック)

	12月 11日	吹奏楽演奏会並びにキャンドルサービスを実施 (寿泉堂総合病院)
	12月 12日	クリスマス会並びにキャンドルサービスを実施 (寿泉堂香久山病院)
	12月 20日	附属さくら保育園クリスマス会開催
	12月 23日	職員満足度向上を目的とし年齢別に J-Café を開催 (～3月18日) (寿泉堂総合病院)
令和2年	1月 23日	東北厚生局による適時調査 (寿泉堂総合病院)
	2月 1日	ボランティア新年交流会開催 (寿泉堂総合病院)
	3月 16日	附属さくら保育園お別れ会開催
	3月 18日	アテントマイスター・プロ研修修了式 (寿泉堂香久山病院)
	3月 24日	定年退職者特別表彰式開催
	3月 25日	平成31年度医師・歯科医師臨床研修修了式開催 (寿泉堂総合病院)